#### **INK JET HEAD**

Patent number:

JP2001105590

**Publication date:** 

2001-04-17

Inventor:

MIYAGUCHI YOICHIRO; TAKEMOTO TAKESHI

Applicant:

**RICOH KK** 

Classification:

- international:

B41J2/045

- european:

Application number:

JP19990286399 19991007

Priority number(s):

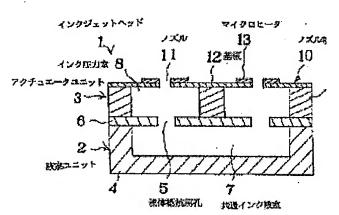
JP19990286399 19991007

Report a data error he

Best Available Co

#### Abstract of JP2001105590

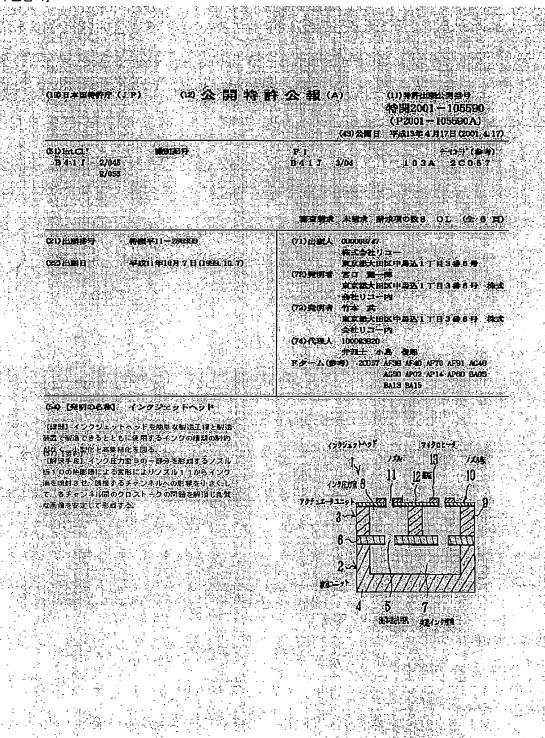
PROBLEM TO BE SOLVED: To produce an ink jet head by a simple manufacturing method and a simple manufacturing apparatus to dispense with the restriction of the kind of ink to be used and to achieve miniaturization and high integration. SOLUTION: Ink drops are ejected from nozzles 11 by the deformation of the nozzle plate 10 forming a part of an ink pressure chamber 8 caused by the thermal expansion of the nozzle plate and the effect on an adjacent channel is reduced to eliminate a problem of cross talk between channels to stably form an image of good quality.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

#### 일본공개특허공보 평13-105590호(2001.04.17) 1부.

#### [첨부그림 1]



#### [첨부그림 2]

#### 【特許請求の範囲】

【は乗事注】 インク圧力室のインクを入さいからイン 力用として頭射させるインのシミットペットにおいて、 インク圧力室の一番分を形成するノスル版の熱趣版によ る変形によりノスルからインク語を連動させることを持 数とするインクジェットペッド。

【請求項2】 上記シスル版は、熱陽策率の異なるは日 を練習してシスルの周囲に形成されたマイクロビータを 有する結末項41に数のインクジェットへッド。 【請求項3】 上記マイクロビータの種屋された特別の 米底頭の雪は少なくとも2幅ある請求項2記載のインク

(諸本頃4)。上記マイクロヒータをシズ川族のインク 圧力量とは反映像の外面に致けた諸本頃2又は3記数の インクジェッドベンド・

【請求項号】 「上記ンズルASの外面に設けたマイクロビータを損水膜を買った請求項4記数のインクジェジトカ

(話を項6) 上記マイクロヒーダをノスJMBのインク 決定側の内面に設け、マイクロヒータの表面を存譲到で 頂った話求項2又は3記誌のインクジェットへット 話求項71 上記マイクロヒータが金属又は含金から なる話求項273mのいまれがに記載のインクジェット

[日本東河 6] 上記マイクロヒーダが基準性ニューセラ ミックスからなる話求項2万宝 6のしまれめ[記数のインクジェットヘット。

#### [発明的計劃以前明]

「完明の届する技術分野」この発明はイックジェット フ リンタに使用するインクジェットヘッド 何にリ型化と 会集技化に関するものである。

(00002) 【従来の技術】インクジェット記録方式はインクジシラ トヘッドを記録以上に接触することなく記録することが できると共に記録プロセスが非常に単純であることやカ ラー記録にも遊することなどから注目されている。この インクジェット記録方式として種々の方式が提案されて、 いるが、現在では記録信号が入力されたときのみインク を吐出するいわゆるドロップオンデマンド方式が主流に なっている。このトロップオンデマンド方式の中にはバ ブルジェット方式とピエソアクチュエータ方式がある。 【00003】パブルジェット方式は熱エネルギによって インク中に発生するパブルを利用するものであり、例え ば神公昭 5:1-- 59:9 1:3号公報に示されているよう。 に、インク流路中にアクチュエータに相当するヒータを、 配袋 しょこのヒータでインクを直接瞬間加熱することで ヒータ表面にパブルを発生させ、この時のインク流路内 の圧力上昇によってインクを液消化してクスルから破損

させる方式である。この方式ではヒータ加熱のための道

毎時間は 5~10 いっさってあり、ヒーク系で選択しての ○~450 ににまできずる。このパブルジェット方式は アクチュエータに相当するとよっタが非常に小さく。ヘッ トの本集技化が1型にが普遍であるとにう対域を指す。

【0004】ピエツアクチュエータ方式は、例えば特公 昭50~8953号公報に示されているように、液定を 形成する容器の整面にアズルを形成し、このアズルに分 向して検室内に圧電素子を配数し、この圧電素子を駆動 することによってノスル領域に動圧を生じませてイング を没適化してノスルから殴打させる方式と。例えば拷問 平3~108:46号込製に示されているいるように、加 圧液室を構成する禁団を変形可能な領性壁とし、"この領 性量の外側に圧電素子を設け、この圧電素子を用いて加。 圧決定の全面を変形させでその内容はを変化させること により、加圧液量内のインクに圧力を与えて液消化して ノスルから収録させる方式がある。このピエンアクチュ タカ式では圧電毒子前面のアスル領域あるいは加圧 液室のパルス的な圧力上昇が必要であり、圧電業子に印 加きれる電圧波形は数 pisec~数10 pisecの立ち上がり 時間に設定され、インクの補給は圧電力子の変位を元に 戻すことによって行われる。

(0005) このゼエンアのチュエータ方式においてインクジェントへつドのラチャンボルにを図るために、別えは何間子キャー16939号公根に示されているように、圧壊がからなるブリーンシートを誘うして形成した差版となる下側は電水デフレート上に下側は電水層を設け、この下側等電水屋上に駆動用圧電素子となる圧電素・デフレートを設け、この圧電素チアレート上に上側逆電水層をおけ、この接着体を上側は電水層から下側線電水層よでの変さで切断加工して上下面に速電体層を有する2つの圧電素デフレートに分割し、更にこの2つの圧電素デフレートを対記切断方面とは交する方向で切断加工して多数の圧電素デに分割することで、列盟されたは数の圧電素デからなる圧電素デ列を2列配列し、これら上電素デ列の上面にブスルに連過する加圧液変を配置している。

#### (0006)

【発明が解決しようとする課題】 パブルシェット方式は 半場体技術を応用することで制造工程の開発化とコスト の低調が図られるが、パブルを発生させるためにピータ の表面温度をそりローツランロと高くする必要があり、 このヒータによる接坂温度の上昇があるため、繰り退し、 駅均周波数をあまり高くできない、また、ヒータによっ で直接インクを加熱するため、インクの組成変化が生 し、さらにピニタのインク境核都分でインクの「環境が別 的完生する。このため使用できるインクの「環境が別 的され、間はインクを使用することができず。面質の自 上に現界があるとともにコケーションによるヒータの名 化でパブル発生の不良や高熱のためヒーダは種間の条化 クラックによるヒータの駅降不良が発生しやすした

【COO 7】 ドエンアクチュエータ方式は圧倒率子の発 熱が無視できるため使用できるインクの種類の契約はな いか、圧得者子の検試や多チャンネル化を図るためのダ インングで位置合わせるの数はか、風かな損益な製造工 ほと参加数のかおすでありコストスになっている。

E000日 また、ハフルジェットカメビビエソアクチュエータカボはいずれらインのハブルジェットやアエイシのジェットペッドでも、アクチュエータはペッドのノスルに対応して下続に形成されるのが、一般的である。しかしこれはインク圧力をノスルまで反逐するのに時間があり、インクジェットペットの考えマンスル間のクロストークに問題がある。

【0009】 この発明はかかる短げるの音し、簡単な製造 は工程と製造程度で製造できるとともに使用するインク の行列の制的がなく、小型化と再発は化を図ることがで きるインクジェット、ンドを提供することを目的とする ものである。

【課題を解決するための手段】この説明に係るインクジェットへットは、インク圧力室のインクをシズルからインク語として限制させるインクジェットへッドにおいて、インク圧力型の一部分を形成するノスルルの始節時による気形によりノスルからインク資を収封させることを特数とする。

【0 0.1 1】上記ノスル版は、風麗張宇の異なる材料を 接層してノスルの周囲に形成されたマイクロビータを有 する。

【O O 1 2】 このマイクロヒータの研官された材料の始 膨張の差は少なく。とも2 他あることが望ましい。 【O O 1 3】また、マイクロビータをジズル場のインク 圧力堂とは反対側の外面に設けると良い。

【0'01'4】このノスル病の外面に致けたマイブロビー 久を搬水膜を覆うと良い、

[0015] また、マイクロビータをノズル仮のインク 液室側の内面に設け、マイクロビータの表面を保護数で 関っても良い。

【(OO) 6】また、マイクロビータを金属又は合金で形成したり、空電性ニューゼラミックスで形成すると良

[גיונס:ס]

(知明の実施の形態)、この発明のインクジェットペット は液型ユニット及び液型ユニット上に摂合されたアクチュエータイニットを有する。液型ユニットは特体と、海 数の流体が振用れが殴けられ、特体の先端部に接合され た時間接を有じ、特体と時間接では減インク液型を形成 している。アクチェエータユニットは砂道板の流体が振 用れに対応する位置にそれぞいインフ圧力室が設けられ たインク圧力室隔度部と、インク圧力室隔壁部の先端部 に接合されたアズル板を有する。アズル板はインク圧力 要に対応する位置にノスルを有する基準と、業場のノスルの周囲表面に設けられたマイクロビークを有する。 素 (抗性) 無能率の小さな対応的 えばもうミックスからな リ・厚きが対えは 1 0 μm で3 0 μm 有し、この登場に 3 0 μm ので3 0 μm で3 0 μm で3

【ロ018】 このインクジェットヘッドのインク圧力金 にインクが満たされた状態で、アスル仮のある人ズルの 周囲に致けられたマイクロセータに共通電視と何別電極 から所定の电流値の電流を流してマイクロビータを囲え は200七程度に加熱すると、 芸板のマイクロヒータが 設けられたノスルの部分は内側から無底後度の小さい基 板と囲えば無膨張率が8×10m~6/℃のCヶ層と側 えば熱影楽をかす8×10m~5/モのNi~Cヶ唇が **枝厚されているから、この純飯張率の差により通量して** いるマイクロヒータか致けられたグスルの部分で基仮が インク圧力室に対して外側に影張変形する。このためイ ンク圧力室は発圧になり、共通インク室から流体抵抗孔 を通ってインク圧力室にインクが流入する。 そしてマイ クロヒータに流れている重流を遮断すると変形している **ソスルの部分が冷却されて収算し元に戻る。このノスル** の部分の収算によりインク圧力量が加圧され、インク圧 力室内のインクが一定量インク値として回射する。 【ロロ19】このようにしてクスル板のクスル周囲を局 部的に加熱して熱胀器により変形させ、この変形により ノスルからインク消を噴射するようにしたから、ノスル の周囲を直接アクチュエータとしてインク油を喰射する ことができ、味噌するチャンネル人の影響を小さくする ことができる.

100201

【DO21】上記のように体成したインクジェットへっ ドネの/スル版3つの製造方法を図りの工作図を参照し で説明する。

【0022】、図3(8) 仁示すように アルミニウム (A I) 切1.5ビンスル1.1の大ききに対応した大きさ の孔 17 を開け、このA 1 切 1 ちに (6)に示すよう に、民知の関係酸化法により降極酸化皮膜(B-AI2 O3) 1 日左 1 0 u'm~ 3 C u'mの厚さで成映する。次 ぎに、関係酸化収取1.8をMn やCr. B/5等の溶液中 で対孔処理し、さらに30.0でで加熱処理して、(6) に示すように 8 - A 1203を y - A 1203に安定化さ せて耐化学性を向上させた基板18を形成する。その 後、(d)に示すように、基版12の表面にヒータ層1 9を形成する。このヒータ君19を形成するときは、参 仮12の表面に外形版字が7.5×10E-6/CのW 若しくは垄板12との商素向上のたの熱影景室が8×1 ロモーも/てのCYを恋書やCVD、竜毛などで厚さ O. 1~O. 5 umに成映し、この皮膜の上に金厚材料 例えば熱形張率が15×10m~5/でのNI-Ciや M服装室が157-1×108-6/℃のNIを上記と同 じ方法で成割する。ヒータ暦19を形成したら、(e) に示すように、ヒータ層 1/9をパターン化じてマオクロ ヒータナ3と共通電艦14及び個別電艦15を形成す る。その後、(1)に示すように、差板12を保持して いるAI版16をアルカリや酸化数溶液で溶解して除去 してノスル版10を得る。 このようにして手導体製造)ま **枌を利用してノスル版10を製造することができる。こ** のノズル版10をインク圧力主際登部9を介して済宝ユ ニット2に接合することによりインクシェットペット1 を作成する。

【0029】また、ノスル板10を作成するときに、通 当な見さのセラミックスの季板12にノスル31を設 け、この季板12の表面にヒータ層19を形成したバタ ーン化しても良い

(0.02 4) 太きに、上記のように構成したインクジェントヘッド 1 の動性を説明する。インク圧力量をにイン・クが満たされた状態で、ノスル版 1 0 のあるソスル 1 1

の周囲に取けられたマイクロヒータ1 3に共通電優1/4 と国別電後)らから砂定の東流値の電流を流してマイク ロビナス1Qを倒えば200~口経底に加強する、この加 熱する基仮1.20マイクロヒータ1.31歳付られたノス ル11の部分は、内側から体影器室の小さい基版12と 例えば仲原張率がB×118日-6/でのC・層と例えば 熱能張定が16×10年ー6/CのNII-C7雇と熱伝 9年に差のある材料が終層されているから、この無能質 車の差によりマイクロヒータ1 3が設けられたノスル1 1の部分で基版12かインク圧力を8に対して外側に除 現実形する。このためインク圧力室8世段圧になり、共 **通インク室7から流体抵抗孔うを通ってインク圧力室®** にインクが流入する。そしてマイクロヒータンでに流れ ている最適を認断すると、変形しているノズル11の割 分が冷却されて収算し元に戻る。 このノスル・1・1 の部分 の収録によりインク圧力室やが加圧され、インク圧力量 8内のインクが一定量インク海として嘘削する。 [0025] このようにしてノスル振10のノスル11 周囲を島部的に加払して熱膨脹率の差によりを形ませ この変形によりノスル11からインク演を取射するよう にしたから、ノスル11の周囲を直接アクチュエータと してインク油を吹射することができ味噌するチャンネル への影響を小さくして、各チャンネル間のクロストーク の問題を解消することができる。 [0026] また、マイクロヒータ13は基版12に対 してNi、Cヶ等の金属層をCt層等を介して接合して あるからマイクロヒータカ3と基版12の宿暑性を高の

ることができ、ノスル11の部分を膨脹、収削させると

きに、マイクロヒータ13が基板12から和離すること

【0028】さらに、マイクロビータ 13 によりノスル 11の部分を原部的に加熱し、かつ加熱温度を比較的修 い温度に抑えることができるから、使用するインクに組 成変化が生じないとともに、イングのコケーションなど を記述する必要がなく関ロイング等を使用して高画質の カラー画像学を印刷することができる。

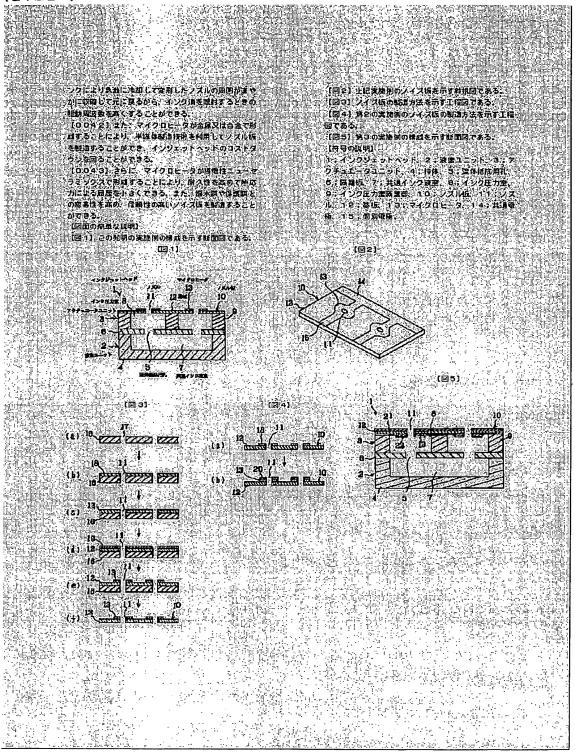
【0029】上記実施別はマイクロヒータ13の表面を

**、露出している場合について以明したが。マイクロと** 『『13 の表面に指水膜を形成しても見い。この場合は、図 『4(a)』上示すように、「セラミックスなどが熱度気率の』』 ・対峙で形成した参振12のシスルナト原因の表面にNI (- CSF 作MOUNE NUMBER OF USE ON STANDING SE 本の大きい材料によりマイクロヒータ:1Gを応事で考る。 までパターン形成する。 はにっくい に示すように マ 本でパターン形類する。ストー・ロットーのリスク イグロビータ13の表面に電名法によるドエドモ共行メージ ジェで滑水解20を形成する。このようにマイクロビー ジョ3の表面に原水解20を形成することにより、マイ フロビータ13の加熱効準をあると共に、インフ囲を 安定して傾射することができる。また、マイクロビータ 13の表面にたけ損水料20を形成するから、ノスル1 1の部分が変形しても供収額による変形利益を助止する。 ことができる (003,0) 上記実施別は差垢 12の外表面にマイクロ ヒータ (3を設けた場合については明したが、図らに示 まように 基施 12のインク加圧室の側の時間はマイク ロヒータ 13を続け、基版12の外表面を解水膜21で 頂い、マイクロヒータ1、3を育する参加1、2の内面を例 大は触可能性ボリイミト等のように耐熱温度が例えば。3 00で程度でセング車がは、8メ106~49×106? ○で最后的操性を有する材料の保護数22をコーティン グレで取るようにしても良い。 【0009:1】このように登城(2のインク30年至8例の グスル・1 周囲にマイクロビータ・1 3を終けると、マイ クロビニタ:つに通常して8加州するごとによりノスル 11の部分がインク加圧室8側に3曲とで変形し、イン ク加圧室9の内圧を高めてノスルコミからインク値を図 射する。この成射するインク値はマイクロビータコラに より知味された部分であり、温度が高くなっているか。 ら、配益駅等に付寄したときに迅速に転換することができる。また、マイクロビータ、13に流れている間流を通 断すると、加州されたマイクロヒータ・3はインク加圧 **塗りのインクにより急激に冷却して変形したノスルキキ。** の母分が達さか「政権する」とたかってインク語を取封 するときの配が周波教を全くすることができる。 「0092)また。マイクロビータ10を有するを振り 2の内面を例えば投合遺居が250で程度の料可提出ボー リイミド等の保護隊22で変さことにより、保護隊22 を利用してシズル協 1.0をインク圧力室隔壁部の上接合 することができるとともにインクのコケージョンなどが 発生することを防ぐことができる。また、MFT検性ポリーイミトきを使用することにより、シスル1・1の部分が加 **角変形しても保護数22に亀裂等が生じることを妨ぎ** 長期間安定して使用することができる。 [0039] 上記事実施例はマイクロヒーター3をく。 等でN)- Cで学を使得して形成じた場合について説明 したが、マイクロビニタコ 3を例えばシリコンカーバイ ト(S + O)やボロジカーバイト(B O)等の導電性ニ

ューセラミングスを使用して形成して対象し、このよう。 にマイクロビーダナスを専門性ニューセラミックスで形 はするごと「まより最次性を高のてMの力」よる程度を小 さいできる。また三級水麻2.0。これでは既は2.2との おみ性をおめ、作物性の点いノイス折りでも製造するこ とかてきるぐ (cos4) 【発明の効果】この発明は以上取明したように、インク 圧力度の一部分をおびする/スルルの外野県による京村 により/スルからイラブ湖を明れるせるようにしたが により/スルからイラブ湖を明れるせるようにしたが た。 スルの原団毛球操すクチュエータとしてインフ油 を強制することのでき、随後するデャンオルへの影響を 小さくして、各チェンネル間のクロストークの問題を解 消するごとができ、食質な画像を安定して形成すること (DOS5) また ノスル板のノスルの周囲|こマイクロ ヒータを設けることにより、ノスルの刷剤だけを局勢的 に熱変形させることができるとともは、ノスルの風通た ける急速に加熱して冷却することができる。 【0095】さらに、マイクロヒータを映影張率の異な る体料を練得してノスルの周囲に形成することにより、 アスルの周囲だけを熱変形させてノスルからインク論を 確実喰打させることができる。 【0037】また、マイクロヒータのは見された付料の 無膨張の変は少なくとも2倍とすることにより、ノスル の周囲を比較的低い温度で局部的に加熱して熱変形させ **ることができ、使用するイシクに熱による組成変化が生** じなく、各種のインクを安定して使用することができっ 【OOOB】さらに、マイクロビータのhoM温度を制御 してンズル周囲の変形の風合いを可変することにより、 噴針するインク語の量を制御することができ、多値化の 画像を安定して印刷することができる。 [0039] また、マイクロビータをソズル板のインク 圧力室とは反対側の外面に設けることにより、インクの コゲーションなどを配慮する必要がなく、質料インク等 のお徒のイシクを使用して高**直**貨のカラー画像等を印刷 することができる。 【0040】さらに、シスル板の外面に設けたマイクロ ヒータを抑水膜を覆うことにより。マイクロヒータの加 熱効率を高めると共12、イシク消を安定じて設計するこ とかできる。また、マイクロヒータの表面にたけ根水腐・ を形成するから、シズルの周回が変形しても既収額によ 今変形制機を防止する。とかできる。 (6041) また「マイクロビニタをンズル版のインラ 接着側の内面に設け、マイクロビニタの大型を見聴数で 限うことにより、インク原を加熱して取付することがで き、記録紙券に付書したときに迅速に放展することがで きる、さらに、マイクロビータに流れている電流を速断

すると、加無されたマイクロヒータはインク圧力室のイ

#### [첨부그림 6]



# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to	the items checked.
BLACK BORDERS	onsonou.
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES	
FADED TEXT OR DRAWING	
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING	•
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES	
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS	
GRAY SCALE DOCUMENTS	
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT	
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE PO	OR QUALITY
OTHER:	OR QUALIT I
	<u> </u>

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.